

各 位

会 社 名 株式会社マーケットエンタープライズ  
代表者名 代表取締役社長 小林 泰士  
(コード：3135、東証プライム)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 今村 健一  
(TEL：03-5159-4060)

## メディア事業における新サービス（動画メディア）展開に関するお知らせ

当社グループは、収益基盤のさらなる拡充・安定化に向け、これまで多角的に新規サービスの導入および開発検討を進めておりましたが、本日、メディア事業において動画メディアサービス（以下、「本サービス」といいます。）を本格的に展開することといたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

### 1. 本サービスの概要

- ・ 名 称 Motorz Jp Channel / モーターズ チャンネル (<https://www.youtube.com/@Motorz>)
- ・ 内 容 カーパーツ、キャンピングカー等、自動車のカスタムに関連する商材の紹介を中心とした YouTube チャンネル（本日時点のチャンネル登録者数=26.8万人）



### 2. 本サービス展開の目的

当社グループは「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、多様化する消費行動や様々な消費スタイルに対し、個々人そして一部の商品・サービスにおいては事業者や法人にまでその枠を広げ、インターネットを通じて最適な消費の選択肢を提供するべく事業を推進しております。

そのビジョンのもと、当社グループはネット型リユース事業・メディア事業・モバイル通信事業の3セグメントで事業を展開しており、ネット型リユース事業・モバイル通信事業については足元では順調な成長軌道を描いております。一方でメディア事業については、Google 社が実施した検索エンジンのコアアルゴリズムアップデートにより、当社グループが展開する主要メディアサイトの検索ランキングに影響が生じたことで、全体としてのPV（ページビュー）数が大きく変動し、その収益力の伸長については足踏み状態が続いております。

このような状況に対処するため、メディア事業においては新規メディアサイトの立ち上げや既存コンテンツの見直し等を行ってまいりましたが、再成長に向けたさらなる収益源を確保すべく、これまでの領域に加えて近年急速に拡大している動画広告市場において新たなサービスを展開することといたしました。

なお、2025年2月14日に開示いたしました「2025年6月期 第2四半期決算説明資料」にも記載のとおり、動画メディアの運用については、従前より試行的に展開しておりましたが、今後は本サービスを動画メディアの中軸に据え、メディア事業における収益基盤の多様化・安定化および再成長を図ってまいります。


(参考) 2025年2月14日開示「2025年6月期 第2四半期決算説明資料」より抜粋



メディア事業②：メディア事業の再成長について

ME MARKET ENTERPRISE

✓ 当期の方針：既存のビジネスモデルに捉われず、**動画メディア等、検索以外での流入ルート確保により収益源の多様化を図る方針**

 高く売れるドットコム <a href="https://www.youtube.com/@takakaueru">https://www.youtube.com/@takakaueru</a> 総合ネット型買取サービス「高く売れるドットコム」が様々な商材の相場や高く売却するコツを配信	 みらい@Wi-FiとWIMAXのコンサル <a href="https://www.youtube.com/@iphonesm">https://www.youtube.com/@iphonesm</a> 話題のスマホの進捗レビューや、キャリア及びMVNOの最新料金プランなど通信業界の気になるニュースを配信	 おいくらチャンネル <a href="https://www.youtube.com/@oikuraチャンネル">https://www.youtube.com/@oikuraチャンネル</a> 買取比較の一括サイト「おいくら」による集客のコツを配信
 チャンネルカシモ <a href="https://www.youtube.com/@kashimo_wimax_official">https://www.youtube.com/@kashimo_wimax_official</a> 賢く安く使えるWIMAX回線を使った「カシモWIMAX」の情報を配信	 UMM / FARM MART <a href="https://www.youtube.com/@UMM_FARMMART">https://www.youtube.com/@UMM_FARMMART</a> “まだ使えるを世界へ”をモットーに、日本の素晴らしい農機具の情報を配信	

33

### 3. 今後の見通し

現時点においてすでに本サービスは収益化しておりますが、当期（2025年6月期）における業績に与える影響は軽微であると判断しております。また、来期（2026年6月期）以降については、今後の動向を踏まえて業績予想に織り込む形での開示を予定しております。なお、本サービスの展開によって当期の業績予想の変更等が必要な状況であることが判明した場合は、速やかに開示いたします。

以上